施策マネジメントシート
（令和７年度目標達成度評価）

シートⅠ　施策24：商工・観光業の振興

施策体系

基本方針	6	産業の健幸	施策名	24	商工・観光業の振興

施策統括部	産業振興部	関係課	企画課
施策主管課	商工振興課		

Ⅰ　施策の評価指標

	成果指標	単位
A	創業支援事業補助金の活用件数	件
B	観光客入込客数	人
C		
D		

２　指標等の推移

成果指標		R4年度実績値	数値区分	６年度	７年度	８年度	９年度	評価	背景として考えられること
A	件	９	目標値	10	10	10	11	○	商工会と連携し、継続的に創業面談に取り組んだこと、令和2年度から創設された当補助金の認知が広がり、創業者からのネットワークで創業面談に至るケースが増加していることが主な要因と考えられます。
			実績値	13	15				
B	人	1,290,659	目標値	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,700,000	○	令和7年度より合志物産館志来菜彩の来客者数を観光客入込客数として数えるようになったこと、また、県農業公園で開催されるイベントの数や規模の変動による増減が主な要因と考えられます。
			実績値	1,279,214	2,075,727				
C			目標値						
			実績値						
D			目標値						
			実績値						

※【評価】　○；目標達成　△；目標をほぼ達成（－5%）　×；目標を未達成

事務事業数・コスト				６年度	７年度	８年度	９年度
事務事業数			本数	９	6		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0		
		都道府県支出金	千円	0	0		
		地方債	千円	0	0		
		繰入金	千円	0	0		
		その他	千円	11	0		
		一般財源	千円	22,736	23,902		
	事業費計		千円	22,747	23,902		

３　施策の現状・住民意見等

①施策の現状（第１期基本計画策定当初）と今後の状況変化

●中小・小規模事業者は大企業と比較して、近年の景気変動や経済・社会情勢の厳しい変化に対応できる経営基盤が整っていないところがあるため、引き続き、商工会や関係機関と連携し、伴走型の支援に取り組む必要があります。
●本市は、特産品や観光資源が少ないため、特産品の掘り起こしや商工業者のPRの場の創設等に取り組みます。
●観光や商業においては、そのシンボルとなるような施設が少ないため、国内外から様々な人が交流できる拠点の創出を、関係商工業との連携のもと進めます。

②この施策に対して住民（対象者、納税者、関係者）、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

（令和７年度（令和6年度振り返り）の施策評価における議会意見）
●6次産業化の推進にあたっては、市独自での製品化やブランド化にとどまらず、既存の市内事業者による6次産業化商品の販路拡大支援を行うなど、中小企業支援の一環として取り組む視点も取り入れること。
●効果的なＰＲ戦略を実行するために、地域おこし協力隊員やクリエーター塾と連携すること。
●商工会や関係機関と連携し、事業継承とM&Aの推進を図ること。

（令和７年度（令和6年度振り返り）の施策評価における総合政策審議会意見）
●観光地の創出に向けて、官民が連携した取組を行うこと。
●官民連携による交流人口の増加に努めること。

４　施策の評価

①施策の振り返り（経営方針の達成度等）

令和７年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。
①【中小企業等振興基本条例に基づいた取り組みを積極的に進めるとともに、国・県・商工会をはじめ、関係機関と連携し、商工事業者の経営安定、新商品の開発及び合志ブランドの創出など、地域経済の活性化につながる取り組みを進めます。】については、市内事業者に対しての国や県が実施する中小企業支援施策情報の周知や、商工会との連携による融資斡旋等の金融対策、こうし夜市やKoshiSantaFestival等の賑わい創出等に取り組みました。また、合志市中小企業等活性化会議を開催し、委員に対して、中小企業振興施策の令和6年度実績報告、優良中小企業表彰者の決定、事業承継・創業支援施策についての検討等、市の取組方針について説明しました。なお、昨年の同会議にて議論された合志市六次産業化・農商工連携による新商品開発等事業補助金交付要綱については、審査項目や補助対象経費等を見直し、より高い事業者支援効果を発揮できるように改正しました。
②【国（九州経済産業局）や熊本県よろず支援拠点、県信用保証協会、商工会及び金融機関との連携による伴走型の創業、起業支援や農商工連携を推進します。】については、合志市創業支援等事業計画に基づき、商工会や金融機関等と連携をしながら伴走型の創業支援を実施しました。また、熊本県の所管公益法人であるくまもと産業支援財団より有識者を招いて、農商工連携の気運醸成イベントを開催しました。
③【経営者の高齢化や後継者不足等の理由による中小企業の廃業を抑制するために、商工会をはじめとする関係機関と連携協定を締結し、中小企業の事業承継に取り組みます。】については、合志市事業承継・創業連携支援に関する協定に基づき、関係機関との定期的な会議の開催や事業承継・創業セミナーの実施に取り組みました。
④【農商工が連携し高収益化を図るため、農産物、特産品を磨き上げ、海外を含むマーケティングの強化を図ります。】については、販路拡大を目的とした市特産品の県内外イベントや展示会への出展、市補助金を活用した事業者の新商品開発支援を行いました。

②施策の課題

●六次産業化や農商工連携による新商品開発について、取り組む意思のある事業者を把握したうえで、適切な支援を実施することが必要です。
●合志市創業支援事業補助金について、近年申請件数が増加したことに伴い、支援体制を強化するべきか検討することが必要です。
●事業承継支援について、国や県、民間での取組内容を踏まえたうえで市が行うべき事業承継支援とはどのようなものかを検討し、その実現に向けて関係者間で協議を行うことが必要です。
●市内事業者の展示会等への出展に関する需要を詳細に把握したうえで、販路拡大や売上向上に資するために適切な支援を実施することが必要です。
●地域産品や合志ブランド認証品のPR、既存観光資源の掘り起こしにより、地域の魅力を商品・観光の両面で高める必要があります。

５　施策の令和７年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項（令和８年7月13日まとめ）

●事業者の六次産業化及び農商工連携を推進し、新たなブランド特産品の開発と既存特産品の磨き上げを支援するとともに、「合志ブランド」の認知定着と売上向上を図ること。
●特産品のマーケティングを強化し、ふるさと納税の返礼品や県内外のイベント、市内飲食店への流通も含めた販路拡大支援につなげること。
●市商工会、金融機関、国・県、関係機関と連携し、創業・事業承継に関する相談、マッチング、経営安定や販路拡大など伴走支援体制を整備すること。
●事業者の意向や需要を丁寧に把握し、補助制度を継続的に改善すること。
●既存観光資源の磨き上げや新たな観光資源の研究、官民連携による賑わい拠点創出を進めるとともに、地域おこし協力隊やクリエイター塾卒業者等と連携してホームページ、SNS、メディア、イベント等を活用した効果的なPRと魅力発信を強化すること。

②総合政策審議会での指摘事項（令和8年8月31日のまとめ）

●アニメ・マンガ・著名人を活用した地域活性化施策の検討を行うこと。
●合志市の象徴となるようなイベントの開催を検討するとともに、市内の農作物を活かした新たなブランド品の開発を検討すること。

③議会の行政評価における指摘事項（令和8年9月1日）

●事業者のニーズを把握し、商工会や金融機関等と連携した経営安定、創業・事業承継、M&Aの推進、販路拡大等の伴走支援を充実すること。
●市内生産者と商工業者等をつなぐ機会を充実させ、農産物等の地域資源の活用や新たな商品・サービス開発、販路の創出につなげるなど、市内で経済が循環する仕組みづくりを強化するとともに、合志市産の商品・サービスのアピールについても研究・努力すること。
●観光については、観光客入込客数に「合志物産館 志来菜彩」の来客者数が算入されているが、市内在住者による日常的な利用も多いことから、観光施策の成果を測る指標としての妥当性を検証する必要がある。単純な施設来客者数だけでなく、市外からの来訪者数や市内での滞在・消費など、観光による交流人口の拡大や地域経済への効果を把握できる成果指標への見直しを行うこと。
●商工会・企業連と連携し、中学２年生の職場体験受入れを実施することで、企業の存在を知ってもらい、将来の就職選択の一つとなる機会を創出すること。

６　次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部　令和９年度合志市経営方針（令和8年10月15日）

①合志市内事業者の経営安定や販路拡大を図るため、「合志市六次産業化・農商工連携による新商品開発等事業補助金」の補助対象経費を拡充し、意欲ある事業者へ幅広い支援ができるよう制度を改正します。また、合志ブランド認証品事業については、認証後の支援を強化するため、認証事業者に対する販売促進支援等を実施します。
②若年層の将来の職業選択のひとつとなるよう、「起業家教育の機会提供」等の支援体制について教育現場や関係機関と連携し検討を進めます。
③事業承継については、譲渡を希望する事業者が特定されないノンネームシート（企業概要書）の活用促進を促進します。関係機関との連携を強化して情報共有の円滑化を図り、早期の相談対応から適切なマッチング、円滑な事業承継の実現につなげます。
④観光・交流人口の増加のためクラッシーノマルシェ及び隣接する総合健康センター「ユーパレス弁天」の回遊性を高め利用者の増加を図ります。また、クリエイター塾卒業生等と連携し既存観光資源の魅力向上、地域資源の掘り起こし、合志ブランド認証品・地域産品のPR強化を進め、市内での滞在時間の延長と客単価の向上を通じた地域経済の活性化を図ります。